

# CASBEE®-建築(新築)2021年SDGs対応版 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版\_速報版 (使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v2.3.2))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	猪名寺・相互タクシーホールディングマンション	階数	地上8F
建設地	兵庫県尼崎市塚口本町六丁目260-1	構造	RC造
用途地域	工業地域、法22条指定区域 第5種	平均居住人員	148 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年2月 予定	評価の実施日	2024年10月18日
敷地面積	1,151 m <sup>2</sup>	作成者	山部 隆浩
建築面積	443 m <sup>2</sup>	確認日	2024年10月31日
延床面積	2,638 m <sup>2</sup>	確認者	山部 隆浩

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%  
②建築物の取組み 74%  
③上記+②以外の 74%  
④上記+ 74%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安を示したものです

### 2-3 建築環境SDGsチェックリスト評価結果

3(保健) 2.2  
4(教育) 1.6  
5(エンターテインメント) 1.3  
6(水・衛生) 1.8  
7(エネルギー) 2.0  
8(経済・雇用) 1.8  
9(イノベーション) 1.6  
11(都市) 2.0  
12(生産・消費) 2.2  
13(気候変動) 2.0  
15(陸上資源) 1.4  
17(実施手段) 2.3

\* SDG1,2,10,14,16は他のゴールに集約されています

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.1**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

音環境 3.2 温熱環境 2.9 光・視環境 3.4 空気質環境 3.3

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

機能性 2.4 耐用性 3.0 対応性 2.7

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.5

生物環境 3.0 まちなみ 4.0 地域性 3.5

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 2.8**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.5

建物外皮の 1.9 自然エネ 3.0 設備システ 2.3 効率的 3.3

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

水資源 3.4 非再生材料の 2.4 汚染物質 3.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

地球温暖化 4.0 地域環境 2.9 周辺環境 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	景観に配慮したデザイン性の高い建物を計画しています。	
その他	特になし。	
Q1 室内環境	T-2以上の性能を持つ建具を採用しています。	Q2 サービス性能
Q2 サービス性能	建物躯体 (RC造) について、劣化等級3を確保しています。	Q3 室外環境(敷地内)
Q3 室外環境(敷地内)	景観届出書提出に際して、銘板、ブランドサインを植栽および景観を周辺の景観に配慮して壁面に設置するように調整しました。	LR1 エネルギー
LR1 エネルギー	入居者に取扱説明書を渡すことに加えて、管理会社を通して説明する取り組みを行う予定です。	LR2 資源・マテリアル
LR2 資源・マテリアル	発泡剤(断熱材)に環境負荷の少ない製品を使用しています。	LR3 敷地外環境
LR3 敷地外環境	敷地内に駐車場や駐輪場を適切な台数確保できるようにしています。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される